



「ICMA Annual General Meeting & Conference 2026」において 開催されたラウンドテーブルに参加しました

2026年5月29日(金)、英国・ロンドンで開催された「ICMA Annual General Meeting & Conference 2026」において、GX 推進機構から高田理事がパネルディスカッション「Financing the entire transition: How sustainable bond markets are evolving」及びラウンドテーブル「Strengthening global synergies to advance transition finance: Lessons and leadership from Japan and the UK」に参加しました。

1. 「ICMA Annual General Meeting & Conference 2026」の概要

[日付] 2026年5月27日(水) ~ 29日(金)

[場所] Queen Elizabeth II Centre(英国・ロンドン)

[主催] 国際資本市場協会

(International Capital Market Association: ICMA)

[参加者] 世界各国から約 1,300 名

2. パネルディスカッションの概要及びその模様

[日付] 2026年5月29日(金)

[名称] Financing the entire transition:

How sustainable bond markets are evolving

本パネルディスカッションでは、各国の金融機関や投資家が参加し、トランジション・ファイナンスの重要性と、2025年11月のICMAによるClimate Transition Bond Guidelines公表後の進展、市場の更なる拡大に向けた課題などが議論されました。また、中東情勢を含む最近の地政学的環境が、脱炭素への移行の取組に与える影響についても言及されました。GX 推進機構(以下、当機構)の高田理事は、他国にも参考となりうる要素として、トランジション・ファイナンスの議論を先導してきた日本における政府・産業界・金融界の密接な連携を挙げ、その連携を促進する当機構の役割について紹介しました。また、最近の地政学的環境の中で、GX やエネルギー転換を推進する重要性を強調しました。



3. ラウンドテーブルの概要及びその模様

[日付] 2026年5月29日(金)

[名称] Strengthening global synergies to advance transition finance:
Lessons and leadership from Japan and the UK

[主催] 日本証券業協会等

[参加者] 約60名

本ラウンドテーブルでは、ICMA の副 CEO 兼サステナブルファイナンス部門ヘッドであり、当機構の Global Advisory Council のメンバーであるニコラス ファフ氏がモデレーターを務め、日本と英国の先導的な取組みを踏まえ、トランジション・ファイナンスの発展に向けた、今後のグローバルな連携に焦点を当てられました。

日本からは、日本証券業協会(主催者)、政策当局者(経済産業省、財務省)及び当機構が参加したほか、英国の政策当局者や ICMA のボードメンバーを含む欧州の市場関係者、アジア各国の市場関係者等のグローバルな関係者の中で、活発なディスカッションが行われました。

高田理事は、当機構の概要や本年3月に公表した債務保証案件をはじめとする、金融支援の取組み等を紹介しました。日本における今後の GX 政策やトランジション・ファイナンスの推進に関する具体的なケーススタディが示されたことにより、英国のトランジション・ファイナンスに関する政策とあわせて、関係者の理解が一層深まりました。先行する日本と英国がグローバルにおいて、多排出産業の段階的な脱炭素化と経済成長・産業競争力強化に資するトランジション・ファイナンスをリードしていくことが認識される機会となりました。



(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

海部、清水、佐藤

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。